

授業科目名	【G】 民法(担保物権)		区分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2	
			選択					
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	民法担保物権のルールとしくみを学ぶ				担当者	関 義央		
授業概要	【概要】	民法において債権と並ぶ代表的な権利である「物権」の中でも講学上「担保物権法」と呼ばれる部分(民法295～398条の22)についてのルールとしくみを学ぶ。						
	【到達目標】	1. 担保物権のルールとしくみについて理解し、他者に説明できる。 2. 裁判で実際に問題となった事例を参考に、法の解釈・適用ができるようになる。						
履修条件	特になし。ただし、授業運営や成績評価方法などの詳細を説明するので、初回授業に必ず出席すること。							
アクティブラーニングの方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【○】	調査学習	【○】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との関連性	①「民法概論」「民法(総則)Ⅰ・Ⅱ」「民法(物権)」を履修済みまたは履修中であることが望ましい。 ②この科目の履修後、またはこの科目と並行して以下の各科目を履修することが望ましい。 「民法(債権総論)Ⅰ・Ⅱ」「民事手続法(民事執行法・保全法)Ⅰ・Ⅱ」 ※今年度は非開講の科目を含む。							
教科書	永田眞三郎＝松本恒雄＝松岡久和＝中田邦博＝横山美夏『物権[第3版]エッセンシャル民法2』(有斐閣、2023年 ISBN978-4-641-18466-4) 令和6年版の小型六法(出版社は問わない。判例付きでなくてもよい)							
参考書	必要に応じて授業中に紹介する。							
評価方法	学習到達度確認テストの成績(60%)とレポート課題(40%)により総合評価する。 ただし、ほかに課題・小テストによる成績を加味する場合もある。詳細は初回の授業で説明する。							
フィードバック方法	教員が採点・評価したテストやレポートを返却する。							
評価基準	上記授業単元の内容について、概略を理解した者については「C」とし、その背景や理由等も理解した者については「B」、さらに主要な学説や判例を理解し、自己の見解を適切に表現できた者については「S」または「A」とする。単元の内容についての理解が不十分な者についてはその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、所定の出席要件を充たさないなど評価不能の場合には「F」とする。							

授業科目名	【G】 民法(担保物権)	区分		開講年次	【G】2	単位数	【G】2
		選択					
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス、担保物権法序説						
	予習:	所有権と担保物権の違いを調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
2	抵当権①序説						
	予習:	抵当権の法的性質について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
3	抵当権②設定						
	予習:	抵当権の被担保債権について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
4	抵当権③効力、物上代位						
	予習:	優先弁済的効力について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
5	抵当権④法定地上権、抵当権侵害						
	予習:	法定地上権について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
6	抵当権⑤代価弁済、抵当権消滅請求						
	予習:	抵当権消滅請求について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
7	抵当権⑥共同抵当権、根抵当権						
	予習:	根抵当権について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
8	抵当権⑦総括						
	予習:	抵当権のルールとしくみを整理する(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
9	質権						
	予習:	質権と抵当権の違いについて調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
10	法定担保物権						
	予習:	法定担保物権と約定担保物権について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
11	非典型担保①不動産譲渡担保の設定、内容						
	予習:	典型担保と非典型担保について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
12	非典型担保②不動産譲渡担保権の実行、消滅						
	予習:	不動産譲渡担保権の実行について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
13	非典型担保③動産譲渡担保						
	予習:	集合動産譲渡担保について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
14	非典型担保④所有権留保						
	予習:	留保所有権の実行方法について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
15	授業の総括						
	予習:	担保物権のルールとしくみを整理する(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・対面授業であっても、Google Classroom といったWeb上のシステムを活用する。 ・対面授業の場合、携帯電話(スマートフォン、タブレットも含む)は電源を切るか、マナーモードにすること。 ・対面授業の場合、私語は厳禁。悪質な場合は退室を命じ、以後の受講を認めない。 						